



近年、大規模な展覧会が開催され日本社会での再評価が
始まった春画。直接的な性表現に注目されがちですが、
遊び心に富んだ多様な笑いや魅力の一つなのです。

そんな『知的遊戯』としての春画を読み解いていきます。
また、誰がどのように作っていたのか、売っていたのか、
見ていたのかなど春画の基礎的なポイントも解説します。

- ◇講師 国際日本文化研究センター
特任助教 石上 阿希
- ◆開講日 第3土曜日
13:00~14:30
- ◇受講料 3ヵ月(3回)分
7,800円+税
- ◇持ち物 筆記用具



「へんてこな春画」を読み解く



河鍋曉斎
「はなごよみ」
国際日本文化研究センター蔵

7/21 →

「春画」を見る、読む

8/18 →

春画に仕掛けられた謎、遊び

9/15 →

春画とパロディ

◇石上 阿希 (いしがみ あき)

国際日本文化研究センター特任助教。2008年立命館大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期課程修了。博士(文学)。大英博物館アジア部日本セクションプロジェクトキュレーター、立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員を経て、現職。単著に『日本の春画・艶本研究』(平凡社)、『へんてこな春画』(青幻舎)など。2015年国際浮世絵学会新人賞受賞。



詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。

名古屋・栄 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞
フリーダイヤル
0120-53-8164 10:00~19:00
日曜日は17:00まで
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F